

防災分野における地理空間情報の利活用推進のための基盤整備
ワーキンググループ（仮称）について

1. ワーキンググループのスコープについて

防災分野における地理空間情報の利活用推進のための基盤整備に向けて、技術動向等に関する情報共有を図るとともに、今後の取組みの方向性について意見交換を実施する。

2. 当面の活動（今年度）について

内閣府が中心となって推進している災害リスク情報等の規格化及び利活用推進を主なテーマとした意見交換

3. ワーキンググループの構成員

ワーキンググループは、次に掲げる者により構成するものとする。

- 産・・・協議会に参加する団体・機関の中からの推薦があった者
- 学・・・防災分野における地理空間情報の利活用に関して知見を有する方、あるいは深いご関心をお持ちの方
- 官・・・関係各府省の各部局等

※ 別途、災害リスク情報等の規格化及び利活用推進に関心のある方を募集する予定。

4. ワーキンググループの運営について

(1) 幹事

幹事に関しては以下を想定しているが、それ以外の団体等からの応募も受け付ける。

学・・・福和伸夫 名古屋大学大学院工学研究科教授
官・・・内閣府政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）付参事官
内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（官側の主務）

(2) 出席謝金、交通費等

民間団体（社団法人、財団法人、NPO法人、任意団体等）、学界からの参加者に対して、国から出席謝金、旅費等の支給はしないものとする。

(参考) 当面のスケジュール予定

第1回（11月頃）

- ・WG趣旨説明
- ・今後の活動方針について
- ・災害リスク情報等の規格化及び利活用推進について

※ 第1回目以降、約1ヶ月ごとに、計5回程度、災害リスク情報等の規格化及び利活用推進に関する意見交換を実施する予定としているが、あくまでも現時点での想定であり、今後変わりうるものである。

防災分野における地理空間情報の利活用推進のための基盤整備WG

地理空間情報
産学官連携
協議会

防災分野における
地理空間情報の
利活用推進のための
基盤整備WG

内閣府主務

社会還元加速
プロジェクト
タスクフォース

総合科学技術会議
(H19に発足)

イノベーション25
(H19.6閣議決定)

～ 意見交換の主なテーマ ～

災害リスク情報等の規格化及び利活用推進

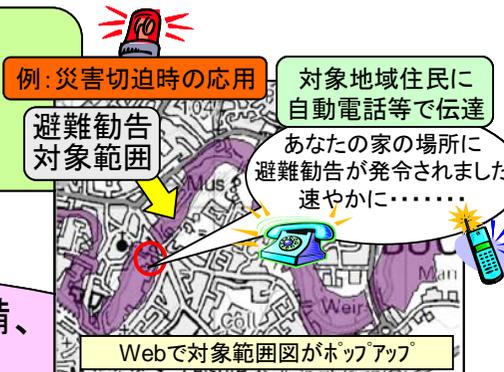
- 規格策定のための組織体制のあり方
- ターゲットとすべき利活用方法
- データ、インターフェイスの規格
- データ管理のあり方と開発すべき関連ツール 等

その他のテーマ

- 新たな利活用
- 最新の技術動向
- ⋮

データの整備と利活用の促進に必要な
規格及び運用ルール等の整備
～ 具体的な取組み ～

作成した規格等を活用したデータ整備、
応用サービスの展開



※2008年6月4日に英国Buckingham市で
実際に発令されていたもの

新たな取組みへ
向けて発展